

1027  
 発 行  
 2021年  
 2月24日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 清野 聡  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 書面審議ので開催

## 第38回東日本本部 拡大委員会開く

第38回国労東日本本部拡大委員会は書面審議となり2月6日(日)にて議長、副議長の選出、執行委員長のおいさつがあり、その後の議事進行について確認しました。

### 書面表決で承認

委員会の発言や執行部に対しての質問など書面で提出し、後日、執行部から委員の発言集、書記長集約が送られ、委員会の承認については書面での表決で行われました。

各委員の発言については、短くまとめ国鉄新潟の紙面に特集しました。不十分な点もあるかと思いますがよろしく願います。



委員からの発言は13名、特別発言が1名、全体で14名でした。発言内容は職場の問題点、組織拡大や春闘の闘いについてありました。

### 全体の意見から

電気部門「変革2022」新幹線・在来線の組織分離が行われ新たな新幹線組織が発足した。問題点「慢性的な要員不足・新幹線東北技セの若手社員からも盛岡・仙台間を通勤しながらの超勤問題も寄せられている。新たに業務に加わったメンテナンスセンター

## 拡大地方委員会

3月6日(土)  
 13時~  
 地本事務所2階



職場の業務量が激増している。職場の労働環境を改善させるためデータ等を調査し、実態を業務研究会で本社へ提案、改善を図った。現場での業務を通じて組合の必要性を説き組織拡大につなげていく。

### 春闘の闘いについて

春闘の闘い「労働組合の必要性を2021春闘から職場運動につなげ労組未加入者へ訴えていく。」

若手社員にもアンケートの協力を訴えた。一人一要求の取り組みを進める。国労の要求を聞くこと、現場長の意識変化があった。

あまりにも低い要求額に驚いた。組合員の思いに報いるためにも交渉だけにせず要求獲得する為の具体的なエリア本部の考えを。



溜め込んだ内部留保を還元させるようストライキを背景とした交渉を後押しする行動提起を。

JR東日本は3兆円を超える内部留保がある。この内部留保を一部取り崩すだけで大幅な賃上げが可能だ。コロナ禍だからこそ、生活費原則に基づく賃上げが必要だ。

### 組織拡大について

新規採用者1名と交流する場を設けることが出来た。コロナ禍で職場での歓迎会・送別会・忘年会

が中止になった。今後も職場から運動を強め拡大に結び付けていく。

職場代表者選挙を取り組む「選挙に立候補した、国労以外からの支持を得ている。労働安全衛生委員に選出された。」



### 労働環境の改善

職場で国労組合員や若手社員、女性社員からの一人一要求を基に現場長交渉し、「使いやすい工具」の配備を要求し職場の労働環境が改善された。

他労組へ気軽に声をかけられる状況になった。

コロナ禍における環境改善に国労組合員とプロパー社員が一緒になって作り上げた改善要求など団体交渉の取り組みがあった。



### 職場の問題改善 拡大へつながる

仙台駅 Livit（東北総合サービス会社）で昨年2名の女性が国労に加入した。職場の問題を取上げて労働条件改善に取り組むことが組織拡大につながっていく。



3年前から地本指令「対話活動」を中心とした取り組みを進めてきた。昨年は2名の拡大。飲み会が開催できなければ昼食などで話し込みをししていく、創意工夫しながら取り組みを強化していく。

### 組合の必要性を感じる

若い組合員から「自分の時間を組合活動に費やしていると、きついな」と思うときがある。

組合に関係なく飲み会を開催しているが、参加する皆は会社に不満をもっている。平成ユニオンを作ろうかと冗談が出るくらい多くの社員が労働組合の必要性を感じている。

平成採組織対策交流会や組織強化・拡大経験交流会を開催し組織の現状と課題について討論し意思統一及び交流を行ってきた。社員職場代表者選挙で国労組合員が当選した。

職場環境を変えていくために、現場社員の要望や不満の声を拾い上げ何を思いながら働いているのか確認しながら行動に移す。



そのために信頼関係をつくる。食事など誘いながら何気ない会話から問題点を見つけ出し、どうしたら良い方向にもっていかれるか組合に相談した。

その結果、昨年国労に2名加入した。働きやすい職場環境に変えていくために不満や不安・ストレスを抱えている人達の話を聞き、拾い上げていこうと思っている。

次号につづきます。



# 2021春闘 国労中央総行動 3月3日 リモート開催



2021春闘勝利！3・3国労中央総決起集会が3月3日リモート開催します。

地方本部は、国労本部から春闘行動の指示を受け、3月3日（水）13時30分～16時 地本会議室で春闘総決起集会を開催します。

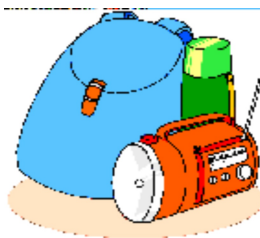
集会は中央の総決起集会とWebでつないで参加する方式とします。



## 地震の震度について

2月13日の福島沖地震で新潟県も震度4の揺れを感じました。震度4は地震が起きた時の私たちが生活している場所での揺れの強さを表します。マグニチュードは地震そのものの大きさ（規模）を表します。

気象庁の震度階級は「震度0」「震度1」「震度2」「震度3」「震度4」「震度5弱」「震度5強」「震度6弱」「震度6強」「震度7」の10段階となっています。



震度3～屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。

震度4～ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が倒れることがある。

震度5弱～大半の人が恐怖を覚える物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり不安定なものは倒れることがある。

震度5強～物につかまらないうちが歩くことが難しい。棚にある食器類や本が落ちるものが多くなる。固定していない家具が倒れる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱～立つていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し倒れるものがある。ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建造物は瓦が落下したり建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6強～はわなないと動くことができない、飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し倒れるものが多くなる。耐震性の低い木造建物は傾くものや倒れるものが多くなる。大きな地割れが生じたり大規模の地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震度7～耐震性の低い木造建物は傾くものや倒れるものがさらに多くなる。耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では倒れるものが多くなる。

最近、地震が発生しています。東日本大震災の余震がたびたびありますが、地震の強さなど気象庁のホームページに記載されていましたので載せてみました。参考にできたらと思います。